



“リーダーシップ - 胆力と大局観 - ”

山内 昌之著 2011年10月 新潮社 680円+税

～ 今この時、切望される真のリーダー像を語る ～

著者は東京大学教授(4月から明治大学特任教授)でイスラム地域の研究で知られる歴史学者ですが、各国の歴史にも詳しく、その幅広い知識を生かして古今東西の歴史からリーダーに必要な資質を考察したのが本書です。

“歴史観や国家観というバックボーンをもたない”鳩山由紀夫、菅直人という2人の首相がもたらしたものは国民的な不幸であるという。彼らの政権下における内政と外交両面での指導力の欠如は深刻であり、国民にも迫られた切実な問いかけは、「真のリーダーシップとは何か」ということだったのではないか。

本書には内外のたくさんのリーダーの意思と行動とが、その背景とともに描かれているが、特に多くの紙幅が割かれるミッドウェー海戦時の海軍少将(死後中將に特進)山口多門のように、最も指揮官としてふさわしい資質はあっても序列が優先されリーダーになれず非業の死を遂げたことに、日本の人事の慣習を悲しむ著者の万感の思いが伝わってきます。

今の日本人に求められる人材のモデルとして保科正之を挙げている。保科は明暦の大火で指揮系統を明確にし、炊き出しなどに迅速にあたった。將軍秀忠の庶子で常に謙虚。「苦勞を知っていて、庶民の事情が理解できる人だったのではないか」とみる。東日本

大震災の現在に大いに通じる。

政治のリーダーには、歴史や伝統に培われた先人の知恵を学びながら、未知との遭遇にも毅然とした胆力を養うことを期待して本書を執筆したという。

最後に結論として優れたリーダー像とは、胆力と人心掌握力そして全体を見通す大局観の3つであると強調しています。

この機会に企業の経営者も考えて欲しい。日本の政治状況だけでなく、多くの方々は自らの延命を優先して決断を先送りし、適材適所ではなく年功序列人事をよしとした経営を行なっていなかったか。組織の運営がうまくいくか、いかにいかないかは、組織の大小を問わず、そのリーダー一人にかかっている。その責任は全てリーダーにある。この書物はそれぞれの組織のトップにある方々にはリーダーとしての在り方や指針となるとともに、自身の人生についても貴重な示唆を与えてくれると思います。(藪野)



ATAC活動の内容 PR

ATACは長年の経験により培った独自の技術とノウハウを、中堅・中小企業の方々が抱えられるモノづくり、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援し、発展に資することを目的としています。

1. コンサルティング

中堅・中小企業の皆様がお悩みのさまざまなテーマについて、コンサルティングを行います。

- ・モノづくり(合理化・5S・品質改善・新製品の開発)
- ・生産管理システムの構築
- ・事業継続計画(BCP)作成支援
- ・公的資金の導入支援

2. セミナー開催・講師派遣

従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。講演会・研修会へ講師派遣も行ないます。

- ・フレッシュマンパワーアップ研修(3日間)
- ・管理職～中堅社員の社内研修(内容・必要日数は相談に応じます。)
- ・社長懇話会

3. 書籍刊行

- ・ATACの経営便利帳
- ・現場の課題解決はこうする(中堅・中小企業の業務改善例)
- ・中堅・中小企業へのATAC提言集(1)～(6)
- ・目からウロコのアドバイス・中小企業の環境対策指針

4. 産学連携のお手伝い

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

相談無料

まずは、ご連絡下さい

(一財)大阪科学技術センター
技術振興部
ATAC事務局

Tel [06-6443-5323](tel:06-6443-5323)

Email atac@ostec.or.jp

URL <http://www.atac.ne.jp>

ATACニュース、Webに関するご意見、ご要望なども、どしどしお寄せ下さい。

編集後記

昨年10月にATACから発行した「中小企業の環境対策指針」の主な内容を逐次ATACNewsで紹介するべく前号では「補助金制度とその動向」を掲載しましたが、今号では「エネルギー消費とCO₂排出量の算定」を載せています。原発問題に絡んで電力不足、電気料金値上げが大きな社会問題になっていますが、節電や燃料費を考える上でエネルギー消費量、CO₂排出量の正確な把握は不可欠ですので、企業の皆様のお役に立てば幸いです。(池田(隆))